ICTサロンだより

第５１号
発 行
シニアネットはまだ
代表：長尾康一
Tel：090-4570-5953
平成 28 年 12 月

超高齢社会とICT

会　長　**長尾　康一**

百歳以上の高齢者が全国に六万五千六百九十二人おられるそうだ。四十六年連続増加しており、今年度中に百歳になる人も三万千七百四十七人と過去最多。

都道府県別の一〇万人当たりの人数は島根県が４年連続で一位。

インターネットで調べるとこのような情報はすぐ出てくる。我々も百歳までは生きないにしても相当長生きしそうだ。

かつて経験したことのない超高齢社会の課題も山積している。

年金制度が破産しそうだから、継続可能な見直しが行なわれている。

年金は目減りし高齢者の医療負担が増えるような仕組み作りが検討されている。介護保険料もさらに上げなければならないようだ。

高齢者にとって経済的に厳しい時代になりそうだ。

何しろ少子高齢化で働き手が減り、労働力不足が顕著になってきている。人手不足を補うために、外国人労働者を呼び込んだり、女性の労働力を引き出すための施策が検討されている。

今でも介護施設の人手不足は大変な問題になっている。浜田でも介護の人材育成の必要に迫られ、県が養成講座を開いたが人が集まらない。担当者がシニアネットはまだのパソコン教室でもチラシを配らせてくれと言ってきて、協力してあげ、やっと今年は受講者を確保した。

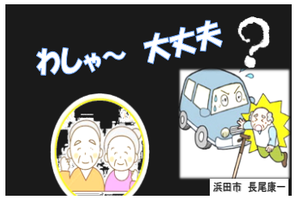
私たちが介護を必要とする頃にはどうなっているであろうか。ＩＣＴを活用して健康寿命を延ばし、それをカバーしていきたい。

高齢者の痛ましい交通事故も増加している。島根県では毎年三十人以上の人が死亡している。その大半は高齢者である。そこで、島根県では七つの地区から代表者を集め「交通安全高齢者の主張」県大会を開催し、事故の減少を目指している。

なぜか私に江津以西の石西地区代表になってくれと話が来た。

日頃それなりに交通安全にかかわっている人が適当でしょうと断ったが、けしかける人が何人かいてパワーポイントを使うというのが条件でとうとう引き受けた。

電子紙芝居でやっているので、その宣伝になると思った。



パワーポイントで
「交通安全高齢者の主張」

「わしゃ～大丈夫？」というテーマで、意識改革を求める内容であったが、幸い優秀賞を受賞し、トロフィーをもらった。「ＩＣＴを活用して豊かな高齢社会を目指す」実践をこれからも続けたい。

新入会員説明会

◆九月二十八日　三〇一研修室

シニアネットはまだとは「あなたもＩＣＴリーダー」を合言葉に、ＩＣＴ（情報通信技術）を活用しての豊かな高齢社会の実現を目指す会であること。

ＩＣＴの学びを通しての仲間づくり・親睦を深める各種行事の紹介・参加案内などが会長・各部長からありました。

◆開発部作成のテキスト「一～十二月花カレンダー＆一年カレンダー」を使って三名が講師体験をしました。

講師体験研修会

平成28年度 シニアネットはまだ 忘年会

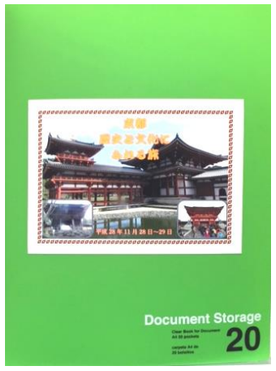
12 月 16 日
きんたの里
（参加 39 名）

作品紹介

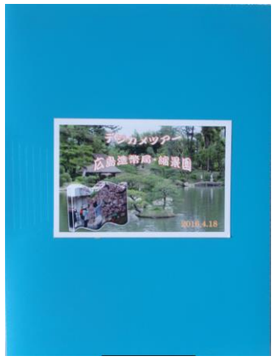
温川 智津子さん

竹吉 洋子さん

萩原 チヨ子さん



アルバム 冨田 泰暢さん



新入会員のご紹介

（九～十二月）

永見 志郎　藤永 佳子
村上 清志　河村 久仁子
河村 文雄　大崎 れい子
中山 敏雄　佐々木 美佐子
山本 忠子

（敬称略）

お知らせ

☆ 総　会
日　時：1月25日
会　場：いわみーる 401 研修室
13:00~15:00
皆様ご参加ください。【総務部】

☆ 作品展示会
日　時：1/25(水)~2/8(水)
会　場：展示ホール
作品をお寄せください。【活動部】

◆編集後記

サロンだよりは会員の皆様に有益な情報を発信できたでしょうか。たくさんの励ましとご協力ありがとうございました。担当者は変わりますが来年もどうぞよろしくお願いいたします。

（総務部・H）

受講生アンケート集計・分析

講座に対する受講生の皆さんのご希望やご意見をお聞きし今後の講座運営・改善の参考にするためアンケートを実施しました。

実施日：平成28年11月9日・14日　講座部

分析と今後の課題

基礎講座

イ）「テキストの内容」「理解しやすさ」はワード・エクセルとも特段の問題はないと思われる。

ロ）「講座のスピード」はワード・エクセルとも、約4割が早いと感じている。
講師には事前準備と段取りに工夫をこらし時間に余裕をもって丁寧な説明が求められる。

中級コース

イ）「テキストの内容」「理解しやすさ」はワード・エクセルとも特段の問題はないと思われる。

ロ）「講座のスピード」はワード・エクセルとも、半数の人が早いと感じている。
講師は事前準備と講座の段取り（極力入力時間を省く為サンプルデータの活用等）に工夫が必要と思われる。

ハ）テキストの修正（重複内容の集約）も時間短縮に効果ある。

ニ）前半の講師がゆっくりし過ぎで、後半が時間不足のため早すぎるという意見もあり、講師間の時間配分に考慮が求められる。

マスターコース

イ）「テキストの内容」「理解しやすさ」「講座のスピード」はワード・エクセルともに特段の問題はない。

ロ）講師・サポーター陣の層の充実が求められる。

ブロードバンド教室

イ）「テキストの内容」は特段の問題なし。

ロ）「テキストの理解しやすさ」は27%が難しいと感じている。
テキストの工夫と丁寧な説明が求められる。

ハ）「講座のスピード」は72%が早いと感じている。
講師には事前準備をしっかりし、分かりやすく丁寧な説明が求められる。

ニ）クラウド（One Drive）は29年度講座で考えたい。

各教室の受講生が今後受けたい講座

項　目	基礎	中級	マスター	BB
インターネット	8	3	／	／
メール	6	／	／	／
デジカメ写真の加工	6	6	2	／
ネットの安全対策	4	3	4	／
パワーポイント	2	4	5	4
ブログの作成	2	1	／	／
Winトラブルの対処法	2	8	4	3
フェイスブック	1	3	／	／
ムービーメーカー	1	3	1	／
コントロールパネル	／	4	2	／
グーグルクロムの活用	／	1	2	2
アマゾンの利用	／	1	1	／
ブログの作成	／	1	1	3
PDFの活用	／	／	2	／
エラーメッセージ対処法	／	／	3	／
ワード	／	／	／	5
エクセル	／	／	／	5
ペイント	／	／	／	1

／　は問いなし

京都旅行

中山　和子

「今度は京都だって」「行く！」と主人の返事。

主人はシニアネット発足当初からのメンバーでしたが、発病のため退会しています。活動部の承認も得られ、一時会員になり、片マヒ故に出来るだけご迷惑をかけまいと話し合い、千年の歴史を育む古都の紅葉を目標に十一月二十八日出発しました。

初めに向かったのが「平等院」。大伽藍が多い京都の中では異色。繊細で優美、可愛らしい感じが好きな寺院です。前に来た時は鳳凰堂の中に入れ、五十二躰の菩薩様が楽器を奏で、雲に乗り空を舞われるお姿に魅せられましたが、今回は一時間待ちと聞いて断念。当時無かった「鳳凰館」が出来ており、現代の技術を駆使した展示を見て館内を巡るようになっていました。

「伏見稲荷」には簡単に行けるとは思いの外。踏切を二つも越え、参道も長々と階段も多く、上まで

行くのが大変でした。主人に車椅子を借りておいて良かったと思ったことです。皆様交代で押して下さり、有難かったです。外国人が多く、日本人との区別が分かりにくく、やはり同一民族なのだと思い至ります。

宇治平等院

「東福寺」は我家の本山で三回目になります。早くも日が翳り始め全部は回れず、下の道から通天橋へと半分の行程でしたが、紅葉には辛うじて間に合いました。

宿は「東山閣」で町中にありました。ライトアップ参加の人も居るので、いつもの賑やかな余興はなく、心寂しい宴会ではありました。

翌二十九日八時出発。「北野天満宮」参拝の後、「二条城」へ。以前は無かったのに車椅子でも回れるようになっていました。襖絵の虎と狩野探幽筆なる老松が素晴らしかったです。

次は高雄の「神護寺」。高低差の激しい道程で私達は始めからキャンセルと決めていましたが、他にも五名行かない人が居られました。もみじ茶屋でお汁粉を頂き、ゆっくりした時間を過ごせ、これもまた良かったのです。

お汁粉に　待つ時間良し
古都の冬

最後は「嵐山」。昼食と買い物の時間。人人人。車も数珠繋ぎ。渡月橋はあたかもお祭りの行列の様。昔とは打って変わった嵐山風景に驚くばかりでした。

午後二時半いよいよ浜田へ向け発車。日暮れの早い時期ゆえウトウトして目覚めると夕焼け空が僅かに残るばかり。千年の歴史を刻む京都の思い出と帰る家のある有り難さをバスは知っているかのように走りに走り続けるのでした。

暮れ早し　ひたすら走る
帰路のバス

紅葉・世界遺産の古都を巡って

三明　忠
早苗

京都の天気予報を気にした家内は出発前夜その身支度で大変でした。それはどうやら私の体調を気にしての事らしい。

私達夫婦は二人で一人前なのか常に外出するのも夫婦一緒でこの度の旅行もそうでした。依頼された感想文も夫婦の合作文です。さて、まずは家内の感想を述べることにします。

平等院には五、六年前に訪れた時、ちょうど修理中で鳳凰堂を見学する事が出来ませんでしたがこの度は何と一時間待ち、見学者の多さに驚きました。鳳凰館では平安時代の阿弥陀如来様の優しいお顔、また像の頭上にある天蓋は見事な繊細な透かし彫り、壁面に飾ってある雲中供養菩薩像など当時の工芸技術の高さを感じました。

二日目、二条城見学。徳川家康が京都守護と将軍上洛時、宿泊に建てた平城と二七万余平米の広大な城域にこれまた、驚きました。

国宝である二の丸御殿の狩野探幽の障壁画・小堀遠州の築山林泉式の二の丸庭園など、それらは時の為政者が成しえたもので、その権力のすごさを感じました。久しぶりの京都、時の流れの早さを感じとても一人では旅することは出来ないなぁ！と思いました。

早苗　記

昭和二五年、アメリカ博覧会が大阪で開催されその際、京都、奈良など修学旅行に行ったのが高校二年生でした。敗戦後の京都でしたが古来の日本国特有の文化に触れたことを今でも鮮明に覚えています。

日本国の文化発祥地である京都奈良など。今では世界遺産になり諸外国の人々が来日し、日本国の文化に触れどんな感想を持ったのか？ちょいとマナーにも気にかかったのは歳のせいでしょうか。最後になりましたが、この度のツアーをお世話下さった関係者の皆様に感謝します。本当に有難うございました。

稲荷大神